

東京都立 国際 英語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

問題の構成は昨年度とほぼ同じで、リスニングテスト 3 題を含む大問 7 題の出題です。[1]～[3]のリスニングでは放送の内容に合うものを 8 つの中から 2 つ選ぶ問題があり、正確に英語を聞き取る力とすばやく選択肢を読む力を両方問う難しい問題です。[4]は会話文や短めの文での適語(句)選択問題です。[5]は短文の中にある 4 つの下線部から誤りを含むものを指摘する問題です。今年度から 1 つも誤りがない場合も含まれるようになり、難易度は高くなりました。また [4]・[5]ともに共通問題では出題されないような難しい表現を問う問題もあります。[6]・[7]は長文読解総合問題です。[6]の問 4 は本文の内容を問う問題ですが、出題が本文の順番通りでないので注意が必要です。問 8 は本文との内容一致を問う問題でしたが、本文とは異なる表現が使われていることで難易度が高くなっていました。[7]の問 4 では、小説特有の表現と文脈から文の内容を推測しなければならない問題が出題されました。また問 9 では昨年同様 100 語程度の条件作文があり、難易度は高いといえます。

入試までに準備しておくこと

文法問題は難易度が高い表現も出題されます。教科書レベルよりやや難しいテキストなどで練習をしておく必要があります。万遍なく復習をするとともに、適語選択、正誤問題、整序作文の問題を数多く解きましょう。また、熟語の知識は長文でも選択問題でよく問われるため、しっかり覚えておきましょう。

読解問題では文章が長めで問題数も多めであるため、速く正確に読むことが要求されます。また、内容を問う問題では選択肢の順番と本文の流れが一致しないものや、本文とは異なる表現で書かれた設問もあるため時間がかかります。日頃から多くの長文に触れ、読むスピードを上げましょう。

条件作文は文法の復習をきちんとするとともに、短文を書く練習や和文英訳の練習をしておきましょう。英文を難しくしないようにするために、表現したいことをシンプルにまとめる練習も大切です。

リスニングは、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。英検準 2 級・3 級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

また、さまざまな問題形式に対応できるように自校作成問題を実施している都内他校の入試問題、他県の公立高校の入試問題などいろいろな種類の問題に触れることも大切です。

英語 分野別出題形式		22年度	21年度	20年度	
リスニング	記号	内容理解(含英問英答)	20	20	16
	記述	英問英答			4
		和問和答			
小計		20	20	20	
語彙	記号	綴り			
		語形変化			
		発音・アクセント			
小計		0	0	0	
文法	記述	適語(句)選択			
		適語(句)補充			
		語順整序			
	記号	部分英作			
		完全英作			
正誤問題・誤文訂正		15	15	10	
小計		15	15	10	
読解	記号	内容理解(含英問英答)	16	16	20
		内容一致	6	4	8
		段落・文整序	2	2	2
		適語(句)・文・節選択	42	34	44
		語順整序	2	4	
	記述	内容理解(指示語など)		10	
		語形変化			
		空所補充	2		
		和文英訳			
		部分英作			
英問英答					
条件英作		15	15	16	
和問和答					
小計		85	85	90	
合計点		120	120	120	